



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁を
つくります

地元の声

- ・がけ崩れから避難所に指定されている赤谷公民館を守っていただきたい。(地元住民)
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。(地元住民)

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



保全対象 (赤谷公民館)

事業前の状況

事業後

◆擁壁を整備することにより、落石を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



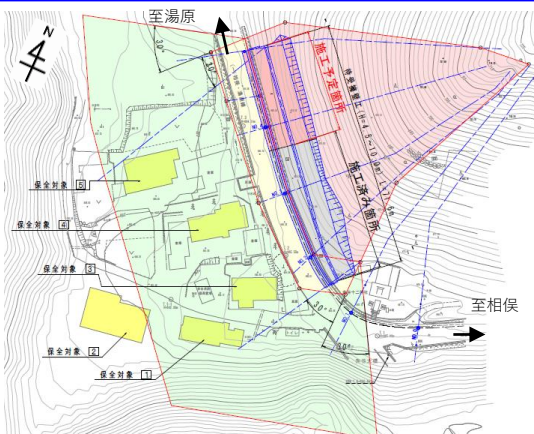
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町相俣
- 事業内容：擁壁工 延長71.6m
- 事業期間：令和2年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は引き続き擁壁工の工事を実施します。



擁壁完成区間の状況